

友好都市・三重県熊野市にて防災・減災の研修 ～町議会議員 視察研修～

10月29日から3日間、友好都市熊野市、現地で防災・減災について学び、市議会議員との意見交換を行いながら交流を深めてまいりました。

熊野市は、人口14,613人 世帯数8,194世帯。紀伊半島の南東部に位置し、津市（県庁所在地）までは約120km、名古屋市まで約190km、大阪市まで約160kmの距離にあります。

海岸線の北部はリアス海岸で、柱状節理の樋ヶ崎や日本の海水浴場百選の新鹿海水浴場などがあり、南部は日本の渚百選にも選ばれた隆起砂礫海岸の七里御浜が続いています。



広大で充実した防災倉庫



ダンプと油圧ショベルの重機



まちの至る所にある海拔表示



海岸線に設置された避難誘導看板

熊野町では令和元年11月1日に三重県熊野市と友好都市協定を締結し、両市町において、産業、観光、文化・スポーツ、防災等の幅広い分野における交流と諸施策に連携・協力して取り組んでいます。

今回視察で訪れた防災倉庫は写真の通り種類と数の多さには感心しました。特に段ボールベッドとほぼ同じ価格の間伐材を使った折りたたみ簡易ベッドは再利用率が高く強度も十分そうで、熊野町にも是非導入を検討していただきたい備品です。

B&G財団から支援されたダンプ&油圧ショベルの重機も各2台所有と本格的でした。予算の関係で直ぐには実現不可能ですが熊野町の防災倉庫の備品もコツコツと増やして充実した内容にしていただき、いざという時の備えにしていただきたいです。

鳥取県大山町・島根県美郷町にて広報紙研修 ～議会広報特別委員会～

10月の2日から3日までの2日間、鳥取県大山町・島根県美郷町にて広報編集について研修し意見の交換を行いました。

大山町は、人口14,510人 世帯数5,568世帯。南北20kmの間に、日本海（海拔0m）から中国地方最高峰「大山」の頂（標高1,729m）を含み、海と山の恵みたっぷりの自然豊かな町です。

大山町役場前にて



▲吉原大山町議会議長と広報委員の皆さんと
実りある時間を共有できました

大山町の編集のポイント

- 小学生高学年でも理解できるように心がけている
- 表紙の写真はプロのカメラマンである町議が担当
- 表紙の写真を上手にとるコツは？
 - ・何パターンか撮っておくこと
 - ・沢山撮る事
 - ・撮る前にイメージだけは考えておくこと
 - ・加工もありで加工アプリにかけてみること

美郷町は、人口4,355人 世帯数1,844世帯。島根県のほぼ中央に位置し、その南北を中国地方最大の「江の川（ごうのかわ）」が貫流。緑豊かな山々に囲まれ、美しい自然風景が四季折々の姿を見せます。

美郷町広報紙・速報版



美郷町の編集のポイント

- 広報委員の6名全員が新人議員で編集
- 定例会終了後すぐに発行する速報版はタイムラグが無い
- 議会だよりは表紙のカラーだけでなく黒と青の2色を使用し
わかりやすく・読みやすい工夫をしている
- 活字を少なくして見易く
- 余白、文字数、写真の画質、フォントなどの統一

大山町・美郷町・熊野町と編集方法が違うものの「住民に分かりやすく読んでいただく」という点に関しては共通の目標でした。

熊野町の広報委員は在籍6名で、年4回のペースで「議会だより」を発行しています。

発行に至るまで各号4回、議会広報特別委員会を開催しており、思ったことは提案し、工夫をしながら、皆さんに読んでもらい易い「くまの議会だより」になるように努めています。